

「かわ」と「まち」の特性

『かわ』の特性

- 古くから今日まで地域の暮らしと発展を支え続けてきた
(農業利水、筏流し、保津川開削、舟運)
- 度重なる水害との戦いの歴史の上に今日がある
(内膳堤防、日吉ダム、河川改修)
- 良好な水質とアユモドキに代表される豊かな自然環境を有する
(多種多様な動植物)
- まちなかの貴重なオープンスペースとして、様々な河川利用が行われている
(保津川下り、運動公園、花火大会、地域のイベント、カヌー等々)

『まち』の特性

- 京阪神に近く、快適で暮らし安き住宅都市の魅力
- 保津川沿川は広大な農地が広がる田園都市の魅力
- 城下町としての風情を残し、多くの歴史的資源を有する歴史文化都市の魅力
- 新しいまちづくり等の魅力
(駅北地区区画整理事業、水端農園プラン、JR山陰本線複線化)

かわまちづくりの目標

目標1：『かわとまちを“むすぶ”かわまちづくり』

桂川は「保津川」という呼び名で親しまれる一方で、これまで幾たびとなく氾濫を繰り返すなど、沿川の人々の暮らしと深く関わり続けてきたところであるが、治水対策やまちづくりが進展してきた今、改めてかわとまちのより良い関わりを結んでいくための「かわまちづくり」をすすめる。

目標2：『かわの魅力を活かしてまちが“にぎわう”かわまちづくり』

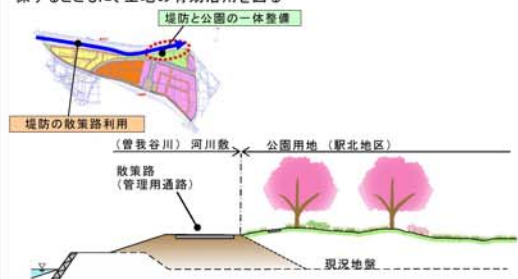
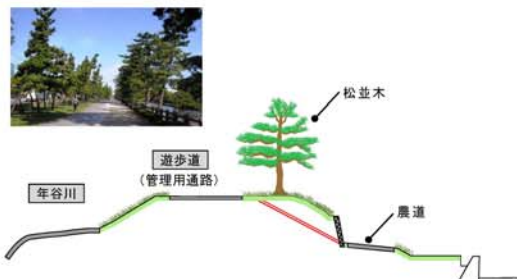

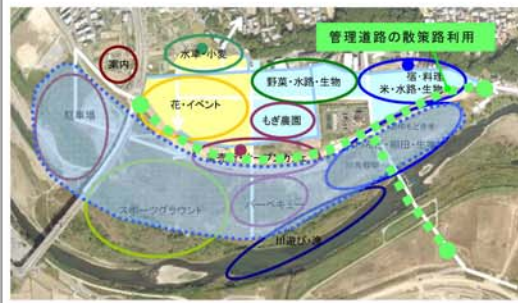
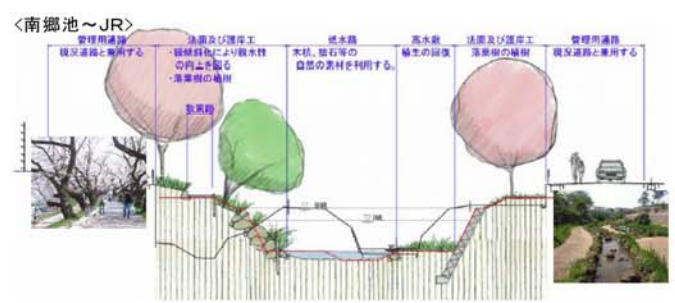

保津川の流れる亀岡地域は京阪神地域からのアクセスに優れるとともに水と緑の豊かな自然や、湯ノ花温泉、トロッコ列車、保津川下りをはじめとする多くの観光資源があり、訪れる人々も年間220万人にのぼっている。これらの資源と連携しつつ、川を活かしたさらなるまちの魅力の創出を図り、にぎわいのある「かわまちづくり」を進める。

目標3：『かわの自然、まちの歴史と文化に“ふれあう”かわまちづくり』

保津川は、古くから沿川の田畑を潤し、保津峡開削によって多くの物資を丹波から京都に運ぶ重要な役割を担ってきた。今日では、沿川の広大な農地への用水の供給とともに、都市の中の貴重な水と緑の自然空間として、また、多くの生き物の生息環境として重要な役割を果たしている。このような保津川の恵まれた自然や、沿川の優れた歴史文化にふれあうことのできる「かわまちづくり」を進める。

目標1：かわとまちを“むすぶ”かわまちづくり

【整備方針】	かわとまちの接点の一体的整備	かわとまちをむすぶネットワークの形成	川の楽しさ、恐ろしさを伝える情報の発信
考えられる具体的な内容の(案)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 駅北地区区画整理事業との連携 <ul style="list-style-type: none"> ○ 曾我谷川の一体的整備 ■ 保津町まちづくりプランとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ○ 水辺公園の整備(高水敷の利活用) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 支川を活用した散策路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ○ 雑水川の散策路整備 (亀山城址・南郷池⇄文化資料館⇄保津川) ○ 年谷川の松並木道「野橋立」 ○ 西川の散策路(JR馬塚駅⇄保津川) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ タイムリーな情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ○ OHP、広報誌などによるかわとまちの情報発信 ○ 河川電光情報板の設置 ■ 防災意識の啓発 <ul style="list-style-type: none"> ○ まちごとハザードマップの整備(実績及び想定洪水標の設置等) ○ 防災パネル展の開催等

イメージ(案)	<p>駅北地区区画整理事業と曾我谷川の一体的整備</p> <p>公園に隣接して水辺を感じる散策路を配置し、かわとまちの連続性を確保するとともに、土地の有効活用を図る</p>  <p>堤防と公園の一体整備</p> <p>堤防の散策路利用</p> <p>(曾我谷川) 河川敷 ← 公園用地(駅北地区)</p> <p>散策路(管理用通路)</p> <p>現況地盤</p>	<p>年谷川の松並木道「野橋立」の復元</p> <p>かつての「野橋立」を復元し、松並木道を整備</p>  <p>松並木</p> <p>遊歩道(管理用通路)</p> <p>年谷川</p> <p>農道</p>	<p>タイムリーな情報の発信</p> <p>「河川電光表示板」 「まちなか情報板」 「洪水標識」</p> <p>電光掲示板での情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急時: 洪水情報など ○ 平常時: 様々な地域情報 
	<p>保津町まちづくりプランと連携した高水敷の利活用</p> <p>農業公園と水辺公園を連続的に整備することにより、地域で一体的に活用</p>  <p>管理道路の散策路利用</p> <p>園内</p> <p>水車・小築</p> <p>花イベント</p> <p>野菜・水路・生物</p> <p>もぎ農園</p> <p>坂・料理</p> <p>米・水路・生物</p> <p>川遊び広場</p> <p>スノーボードグラウンド</p> <p>バスケット</p> <p>川遊び広場</p>	<p>雑水川の河川整備</p> <p>雑水川改修にあたり、多様な生物の生息環境に配慮した整備を行うとともに、南郷池から保津川を水と緑の散策路でつなぐ</p> <p><南郷池～JR></p>  <p>管理用通路</p> <p>親水遊歩道と兼用する</p> <p>池田及び運河工</p> <p>自然緑地により親水性の向上を促す</p> <p>落葉樹の植樹</p> <p>散策路</p> <p>橋水路</p> <p>木杭、磐石等の自然の素材を利用する。</p> <p>高水敷</p> <p>緑生の回復</p> <p>法面及び護岸工</p> <p>落葉樹の植樹</p> <p>管理用通路</p> <p>親水遊歩道と兼用する</p>  <p>保津川</p> <p>文化資料館</p> <p>亀山城址</p> <p>南郷池</p> <p>亀山城址・南郷池⇄文化資料館⇄保津川</p>	

目標2：かわの魅力を活かしてまちが「にぎわう」かわまちづくり

【整備方針】	保津川のシンボルの創出	観光拠点の整備充実	まちの資源を活かした観光ネットワークの形成
考えられる具体的な内容の(案)	<p>■「(仮称)保津川 花回廊」の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○築堤、桜・つつじ等花木の植栽、遊歩道、休憩施設、案内板 等 <p>■年谷川千本松「野橋立」の復元</p> <ul style="list-style-type: none"> ○松並木、遊歩道、休憩施設、案内板 等 	<p>■山本浜の復元</p> <ul style="list-style-type: none"> ○緩傾斜護岸、河原の再生 <p>■保津小橋の周辺整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○橋詰広場、休憩施設、案内板 等 <p>■保津川下りの周辺整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○乗船場及び周辺護岸整備、出発広場、案内板 等 	<p>■観光動線の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「(仮称)保津川 花回廊」等 (トロッコ⇄保津小橋⇄保津町⇄保津川下り⇄亀岡駅) <p>■輸送手段の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○馬車等の運行
イメージ(案)	<p>『(仮)保津川・花回廊』</p> <p>保津川の新たなシンボルとして、桜・つつみを中心に四季折々の花木を楽しめる散策路や休憩スポットなどを整備</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="392 1149 537 1244"></div> <div data-bbox="548 1149 694 1244"></div> <div data-bbox="705 1149 851 1244"></div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="392 1268 537 1364"></div> <div data-bbox="548 1268 694 1364"></div> <div data-bbox="705 1268 851 1364"></div> </div> <p>カンツバキ(11月～2月) 市の花・つつじ(5月) 市の木・桜(4月)</p> <p>サザンカ(10月～12月) アペリア(6月～11月) ヤマブキ(4月～5月)</p>	<p>山本浜の復元</p> <p>今でもカヌーやラフティングなどの河川利用のある場所であり、かつての「山本浜」として復元し、浜のにぎわいを創出する</p> <p>整備イメージ</p>  <p>保津小橋の周辺整備</p> <p>対象地域において保津橋以外で唯一左右岸をつなぐ動線であり、橋詰に広場を設け、休憩や展望スポット等を配置する</p> <p>整備イメージ</p> 	<p>観光動線の整備</p> <p>「(仮称)保津川 花回廊」を中心に観光拠点や左右岸をつなぐ動線を確保し、ルート案内板や休憩施設なども整備</p>  <p>トロッコ⇄保津小橋⇄ ⇄保津町・水端農園プラン⇄保津川下り⇄亀岡駅</p> <p>保津川下りの周辺整備</p> <p>保津川下り乗船場の移転に合わせ、乗船施設や出発広場、観覧施設等を整備し、観光拠点としての充実を図る</p> <p>保津川と周辺の風景に調和した整備 先行整備箇所として検討</p> 

目標3： かわの自然、まちの歴史と文化に“ふれあう” かわまちづくり

【整備方針】	川の自然を感じる交流・ふれあいの場の創出	アユモドキをはじめ多くの生き物の生息環境の保全再生	保津川と人との関わりの歴史文化を伝える
考えられる具体的な内容の(案)	■高水敷の利活用 ○市のまちづくり計画に沿った利活用（包括占用制度の活用） ・芝生公園、多目的広場、コミュニティ広場、花畑、採草地、河川環境保全活動の拠点 等々	■水辺環境の保全再生 ○水際の保全再生 ○ワンドの創出	■歴史文化の伝承 ○歴史史跡案内マップ（川と歴史を巡る散策コースの設定） ○保津百景との連携 ○歴史文化、自然学習会として「(仮称)保津川探検」の開催
	■水辺の散策路 ○水辺の小径の整備	■アユモドキ保全協議会との連携 ○生息環境の保全、再生 ○生息調査の実施	■上内膳・下内膳の復元 ○上内膳の補修 ○下内膳の復元

イメージ(案)

<p>高水敷の利活用</p> <p>市が主体となって、包括占用制度も活用し、まちづくり計画に沿った利活用や、誘導を図る(整備例)</p> 	<p>水辺環境の保全再生</p> <p>かつて農地を守るために施工されたブロック積護岸や根固ブロックを自然石等に置き換えるなどにより水辺環境の再生を図る</p> 	<p>歴史文化の伝承</p> <p>「保津百景との連携したマップ作成」「保津川探検の開催」</p> 
<p>水辺の散策路</p> <p>旧堤防を活用し、河川管理用通路も兼ねたより水辺を身近に感じることのできる散策路や小径を整備</p> 	<p>アユモドキ保全協議会との連携</p> <p>市の取り組みと連携し、保津川本川や支川において、生息調査や生息環境の保全再生を進める</p> <p>【生息環境の改善】 布回カゴ、石積みを設置</p> <p>【産卵場の改善】 高水敷の擾乱（今年度も継続実施）</p> <p>【ワンドの創出】桂川本川</p> 	<p>上内膳・下内膳の復元</p> <p>歴史的な水制工として今も機能する上内膳、下内膳を復元し、先人の知恵を学び継承していく</p>  <p>(文献による長さ: 約50間: 90m)</p>

■かわまちづくり 整備内容 検討案

目標	整備方針	施策メニュー	考えられる具体的な内容	取り組みの主体			
				河川管理者 (府)	亀岡市	地域	事業者等
【目標1】 かわとまちを “むすぶ”	かわとまちの接点の一体的整備	駅北区分整理事業との連携	・曾我谷川の一体的整備				
		保津町まちづくりプランとの連携	・水辺公園の整備(高水敷の利活用)				
	かわとまちをむすぶ ネットワークの形成	支川を活用した散策路の整備	・雫水川の散策路整備(亀山城址・南郷池⇄文化資料館⇄保津川) ・年谷川の松並木道「野橋立」 ・西川の散策路(JR馬塚駅⇄保津川)				
		川の楽しさ、恐ろしさを伝える 情報の発信	タイムリーな情報の発信 防災意識の啓発	・HP、広報誌などによるかわとまちの情報発信 ・河川電光情報板の設置 ・まちごとハザードマップの整備(実績及び想定洪水標の設置等) ・防災パネル展の開催等			
【目標2】 かわの魅力を活かしてまちが “にぎわう”	保津川のシンボルの創出	「(仮称)保津川 花回廊」の整備	・築堤、桜・つつじなど花木の植栽、遊歩道、休憩スポット、案内板 等				
		年谷川千本松「野橋立」の復元	・松並木、遊歩道、休憩施設、案内板 等				
	観光拠点の整備充実	「山本浜」の復元	・緩傾斜護岸、河原の再生				
		保津小橋の周辺整備	・橋詰広場、休憩施設、案内板 等				
		保津川下りの周辺整備	・乗船場及び周辺護岸整備、出発広場、案内板 等				
	まちの資源を活かした 観光ネットワークの形成	観光動線の整備	・「(仮称)保津川 花回廊」等 (トロッコ⇄保津小橋⇄保津町⇄保津川下り⇄亀岡駅)				
輸送手段の検討		・馬車等の運行					
【目標3】 かわの自然、 まちの歴史と 文化に “ふれあう”	川の自然を感じる 交流・ふれあいの場の創出	高水敷の利活用	・市のまちづくり計画に沿った利活用(包括占用制度の活用) (芝生公園、多目的広場、コミュニティ広場、花畑、採草地、河川環境保全活動 の拠点 等々)				
		水辺の散策路	・水辺の小径の整備				
	アユモドキをはじめ多くの 生き物の生息環境の保全再生	水辺環境の保全再生	・水際の保全再生 ・ワンドの創出				
		アユモドキ保全協議会との連携	・生息環境の保全、再生 ・生息調査の実施				
	保津川と人との関わりの 歴史文化を伝える	歴史文化の伝承	・歴史史跡案内マップ(川と歴史を巡る散策コースの設定) ・保津川百景との連携 ・歴史文化、自然学習会として「(仮称)保津川探検」の開催				
		上内膳、下内膳の復元	・上内膳の補修 ・下内膳の復元				

(今後検討)

